

## シンポジウム「歴史が蘇るデジタル・アーカイブ —日米交渉史などに見るアジ歴5年目の展開—」を開催

国立公文書館 アジア歴史資料センター

国立公文書館アジア歴史資料センター（アジ歴）は、2006年11月30日に設立5周年を迎えました。また、10月10日には、情報提供および業務システムの更新を行い、さらなる利便性の向上を図りました。

この機会を捉えて、2006年12月8日に赤坂プリンスホテルにおいてシンポジウム「歴史が蘇るデジタル・アーカイブ—日米交渉史などに見るアジ歴5年目の展開—」を開催しました。

このシンポジウムには、アジ歴データベースのユーザーをはじめ、設立関係者、政府関係者等約160名が参加しました。

シンポジウムでは、主催者を代表して、菊池光興国立公文書館長が開会挨拶を行い、細谷千博日本学士院会員が基調講演「検証：日米交渉」、続いて、石井米雄アジア歴史資料センター長が基調講演「アジ歴5年のレビューと新しい展開」を行いました。そ

の後、センター職員による新システムに実際にアクセスしてのデモンストレーションが行われました。

後半は、2つの基調講演を受けて、日米交渉を事例とした歴史資料の今日的意義とデジタル・アーカイブとしての「アジ歴」が果たし得る役割を探ることをテーマに、パネル・ディスカッションを行いました。

平野健一郎早稲田大学教授がコーディネーターとなり、細谷、石井の両基調講演者に、波多野澄雄筑波大学教授、赤木完爾慶応義塾大学教授、加藤陽子東京大学助教授を加え、それぞれの専門家としての見地から討議を行い、「アジ歴」の今後の業務のあり方についての提言を含む様々な意見が表明されました。



菊池館長開会あいさつ



パネルディスカッション

パネルに引き続き、フロアから活発な質疑や意見が出された後、シンポジウムの締めくくりとして平野教授が総括を行い、成功裡にシンポジウムを閉会しました。

なお、本件シンポジウムの詳細については、アーカイブズの次号で「アジ歴」に関する特集を行う中で取り上げる予定です。



**シンポジウム**

# 歴史が蘇る

デジタル・アーカイブズ

— 日米交渉史などに見る「アジ歴」5年目の展開 —

「アジア歴史資料センター」(アジ歴)は、2001年11月30日に国立公文書館の下に設立されて以来、アジア歴史資料のデジタル・データベースを構築し、ウェブサイト上で公開してきました。

このシンポジウムでは、「アジ歴」の5年間の経験をレビューし、また、ウェブサイト上の特別展で取り上げてきました開戦に至る日米交渉を事例として、歴史資料が現代社会にとって持つ意義を考え、デジタル・アーカイブの役割と将来像を探ります。

●開催日時	2006年12月8日(金) 13:30~17:50
●場所	赤坂プリンスホテル
●プログラム	基調講演 「検証:日米交渉」 細谷千博 日本学士院会員
	基調講演 「アジ歴5年のレビューと新しい展開」 石井米雄 アジア歴史資料センター長
	アジ歴新システムの紹介 牟田昌平 調整専門官
	パネルディスカッション

●参加を希望される方は <http://www.jacar.go.jp> まで